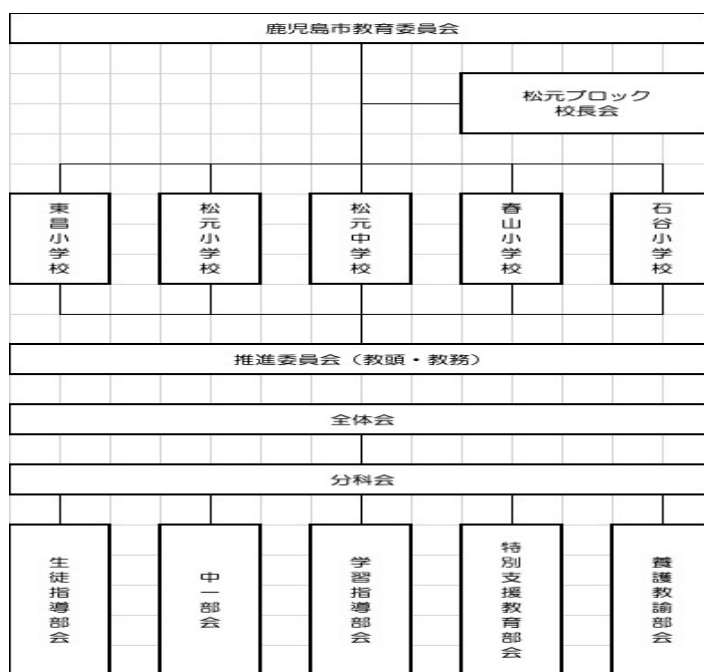


## 令和5年度 松元ブロック小・中連携研修会 活動のまとめ

### 1 研究主題

確かな人間性を育み、「確かな学力」などの「生きる力」を育むための小・中連携のあり方

### 2 組織



#### ○推進委員会（教頭・教務）

小・中連携研修会の開催にあたり、事前打合せ、調整を担う。

#### ○全体会（各学校より）

松元ブロック小・中連携研修会（年2回）の開催。全体としての取組等の確認を行う。

※第1回（6月）、第2回（今年度は、未定。来年度以降は、2学期末に実施予定）

#### ○分科会

- ・生徒指導部会 : 生徒指導における共通実践の協議及び実践
- ・中一部会 : 中学校1年生の状況をもとに、小学校との連携  
小学校卒業時における中学校への引き継ぎを行う。
- ・学習指導部会 : 授業改善や研究授業の呼びかけ  
学業指導や家庭学習などの共通実践事項の協議及び実践  
指導計画や教材の共同開発
- ・特別支援教育部会 : 教育的に一ずに応じた合理的配慮の明確化  
移行支援に関する情報の共有  
校内支援体制についての情報交換
- ・養護教諭部会 : 保健指導における共通実践事項の協議及び実践  
メディアコントロールの取組の協議及び実践

### 3 共通実践事項

- (1) 小・中連携研修会において、年1回は当番校が授業参観を行う。  
※ 授業参観の形式や方法については、学校の規模・状況に応じて、検討し行う。
- (2) 校内研修への参加交流を積極的に行う。  
※ 各学校への案内、参加調整は、開催校が行う。
- (3) 教員間の交流による授業交流（小⇄小，小⇄中の交流）
- (4) 小・中連携研修についてのまとめ（全体会・部会の報告を当番校が取りまとめ、2月末までに、「研究のまとめ」として報告する。報告は、当番校が、市教育委員会に行い、各学校に、HP掲載のためのデータを送る。各学校は、3月中には、HPに掲載できるようにする。

### 4 年間計画

日付		備考
5/24 (水)	第1回小・中連携研修会に係る打合せ会 ○ 前年度の成果と課題の確認 ○ 今年度の方向性の検討	会場：東昌小学校 (対面) 当番校 校長 教頭，教務主任
6/26 (月)	松元ブロック小・中連携研修会 ○ 授業参観 ○ 全体会（今年度の方向性の確認） ○ 分科会（共通実践事項の協議，年間計画の作成 等）	会場：東昌小学校
	各部会の実践 ※取組の例 ○生徒指導部会 ・長期休業における重点指導事項の検討及び実践 等 ○学習指導部会 ・校内研修等の研究授業の相互参加 ・職場体験学習の受け入れ ・行事や校時表の見直し 等 ○中一部会 ・卒業時における中学校への引き継ぎ ・入学後の生徒の様子についての情報交換 ・小学校のうちに身に付けておいてほしいことの共有 等 ○特別支援教育部会 ・移行支援シートの作成に向けての共通項目等の協議 ・校内支援体制についての情報交換 等 ○養護教諭部会 ・保健指導や治療呼びかけについての情報交換 ・メディアコントロールの共通実践 等	オンラインでの実施 県民週間を活用した授業参観 他校への職員研修(提供授業)への参加
2/13 (火)	第2回小・中連携研修会に係る打合せ会 ○ 今年度の取組（成果と課題） ○ 来年度に向けての課題設定 ○ 来年度の日程調整（打合せ会，全体会 等）	(会場) 東昌小学校 ※オンライン 当番校 校長 教頭，教務主任

#### 4 各部会の取組及び成果と来年度に向けての取組について

##### (1) 生徒指導部会

テーマ	豊かな人間性を育む生徒指導は、どうあればよいか。	
東昌小	取組	1 あいさつ、ろう下歩行、くつをそろえるの徹底 2 職員会議後の情報交換会により、職員間での情報共有 3 情報モラルに関する家庭教育学級
	成果	○定期的に指導の声掛けを行っているので、意識を高めることができつつある。 ○BAD NEWS FIRSTで情報共有を行い、早期解決に向けて取り組むことができた。 ○長期休業中のしおりについて、中学校区で共通実践ができた。 ○ケース会議や教育相談、SCとの連携を図り、多面的な解決方法の検討ができた。
春山小	取組	1 楽しく学校に通える春山っ子（挨拶や言葉遣いなど） 2 きまりやルールを守り、安全に楽しく生活のできる春山っ子
	成果	○「学校生活（悩み・いじめ）アンケート」「学校楽しいーと」の実施 ○アンケートをもとにした児童・保護者との教育相談の実施 ○毎月の生徒指導事例報告会の進め方の改善（学年部→全体会） ○学習のきまりや生活のしおりの再確認と指導（次年度に向けた見直し）
石谷小	取組	1 夏休み前のPTAでの「スマホ18の約束」を配付及び保護者への説明 2 子どもと一緒に考え、約束事を決めていき、できたら認めていくなど、積極的な生徒指導を行った。
	成果	○保護者へ啓発を図ることができた。 ○自分たちできまりを守ろうとする雰囲気の高まりが見られた。
松元小	取組	1 年5回の児童アンケートの実施と、年4回の保護者との教育相談の実施。 2 いじめ問題を考える週間や人権強調月間の内容の充実
	成果	○学校たのしいーとを活用したり、各家庭1回は保護者と教育相談を実施したりして児童理解を深めることができた。 ○講師を招いた人権教室を全学年実施したことで、人権について、児童や教員が理解を深めることができた。
松元中	取組	1 あいさつ運動
	成果	○あいさつをする生徒が増えてきた。 ▲一方、あいさつをしない、目も合わそうとしない生徒もいる。 ▲関係性が薄いとあいさつをしない（校内でも）

##### ○来年度に向けて（共通実践事項）

- ・ ゲームやスマートフォンの正しい使い方ができるようになるための共通実践
- ・ 不登校の児童・生徒の情報共有により、解消に努める。
- ・ 児童・生徒の自己肯定感が高められるような取組の実践

(2) 中一部会

テーマ	中一ギャップを解消するための指導は、どうあればよいか。	
東昌小	取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中学校のルール・校則の確認</li> <li>2 英語力（リスニングを重点的に）を身に付ける。</li> <li>3 松元小学校の交流授業（6年生）</li> </ol>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業前の着席し、準備することができるようになった。</li> <li>○ AEA と連携を図りながら学習を進めることができた。</li> <li>○ 交流学习により、大人数に少しでも慣れることができた。</li> </ul>
春山小	取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科担任制を生かし、全教職員で児童を見届け、指導に当たる。</li> <li>2 始業前の2分前着席、1分前黙想を行う。</li> </ol>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各担任が他のクラスに入ることで、学習面や生徒指導面などの問題に気づくことが多く、共通理解を図りやすかった。</li> <li>○ 休み時間と授業の区別をしっかりとつけることで、授業への取り掛かりをスムーズに行うことができた。</li> </ul>
石谷小	取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 きまりの確認</li> <li>2 英語力の向上</li> </ol>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校への持ち物等の意識が高まった。</li> <li>○ 英語を読む力は向上した。</li> </ul>
松元小	取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 卒業時における中学校への引継ぎ</li> <li>2 入学後の生徒の様子についての情報交換</li> <li>3 小学校のうちに身に付けておいて欲しいことの共有</li> </ol>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校の方で小学校に聞きたいことがまとめられていて、時間を有効に使うことができた。</li> <li>○ 小学校の旧担任が出席できない事があり、中学校に十分な情報を提供できない場面もあった。</li> </ul>
松元中	取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中学校入学後の情報交換</li> </ol>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学後の生徒の様子を伝えることができた。</li> </ul>

○来年度に向けて（共通実践事項）

- ・ 時間を意識して行動する児童の育成。（ノーチャイムの共通実践）
- ・ 中学校英語部から巡回された「Can Do」リストの共有と活用を図る。

(3) 学習指導部会

テーマ	確かな学力を育む学習指導は、どうあればよいか。	
東昌小	取組	1 提供授業の呼びかけ（松元小より1名参加） 2 「学び合い（協働的な学習）」による授業改善 3 ICT 機器の効果的な活用
	成果	○児童の姿による授業研究ができ、授業改善を図ることができた。 ○聞く態度が育ってきているので、「分からない」ときに学び合うことで主体的な学びができつつある。 ○職員室スケジュールや保健室からの呼びかけでモニターを効果的に活用することができた。
春山小	取組	1 ICT を使った学習指導の充実 2 家庭学習の充実
	成果	○ 様々な教科でタブレットを使った活動を取り入れることで、子供たちが進んで学習に取り組み、自分の考えをまとめたり表現したりする力が高まった。 ○ 長期休みはまなびポケットを使った家庭学習に取り組み、基礎基本の定着を図った。 ○ 家庭学習についてそれぞれの学年の実態に合わせて工夫して取り組むことで、内容の充実を図り、読んだり書いたりする力が身に付いた。
石谷小	取組	1 1人1台端末の効果的な活用を目指した職員研修 2 各学年で1人1台端末を活用した授業提供・授業研究
	成果	○ 1年生から6年生まで、それぞれの発達段階に応じて活用することができた。 ○ 各学年で実施することによりロイロノートやナビマなどの日常的な活用につながった。
松元小	取組	1 1学期は基本的なICT活用を確認するための研究授業、2学期は低・中・高学年部に分かれてICT活用の研究授業を行った。 2 ICT活用に関する実践を行い、ロイロノートの共有ノートにその実践をまとめ、交流会を行った。 3 ICTを活用した学習指導力を向上させるため、放課後ICTおとな教室を開き、ICT活用に関する内容を紹介し合った。
	成果	①②指導している学年、学級の児童の実態に合わせたICT活用の様子を参観することで、効果的なICT活用の仕方を考え、実践につなげることができた。 ③ICTを活用した学習指導での悩みなどを共通理解したり、対策を考えたりすることで、職員の学習指導におけるICT活用の力を高めることができた。
松元中	取組	1 ICTの有効活用の在り方について
	成果	○ 意識的に活用する先生方が増えてきている。

○来年度に向けて（共通実践事項）

- ・ 校内研修の研究授業等の相互授業参観の拡充を図る。
- ・ 松元ブロックで共通した家庭学習の手引きを作成し、実践を行う。
- ・ ICTの効果的活用について検証し、実践を共有する。

(4) 特別支援部会

テーマ	特別支援における児童・生徒への対応と連携について	
東昌小	取組	1 特別支援校内委員会等での支援が必要な児童の共有 2 就学相談及び教育相談を実施し、必要な支援を家庭と共有 3 他校（松元小・松元中）への授業参観及び情報交換の研修
	成果	○ 必要に応じて家庭との連携が図れた。支援を必要とする児童に、必要とされている支援を行うことができた。 ○ 日頃から家庭との連携を図っていたので、就学相談等をしやすかった。 ○ 巡回相談の指導を受け、就学相談や支援の在り方について研修を深めることができた。 ○ 他校参観を通して、様々な支援の在り方を知ることで、自校の支援に生かすことができた。
春山小	取組	1 児童への対応 (1) 適切な実態把握と計画に基づいた指導・支援の充実 (2) 自立活動、生活単元学習の充実 (3) 交流学習の充実 2 連携について (1) 保護者との連携 (2) 入学前、卒業後の連携 (3) 専門機関との連携
	成果	① 年度初めに課題を確認し合うことで、より実態に即した計画を立てることができた。また、児童や保護者と課題を共有し、実践への共通理解を図ることができた。 ① 特学担任と交流学級担任の連携を図りながら、交流学習の支援に入ることができた。 ② 保護者と密に連携を図り、信頼関係を築くことが大切である。支援学級で学ぶ教科や在籍変更などの話し合いをスムーズに行うことができた。 ② 入学前の保護者には、就学時健診の資料に案内を配布している。例年10名程度の相談を受けている。
石谷小	取組	1 自立活動の教育課程上の位置付け
	成果	○ 週1回、支援学級合同のレクリエーションを行ったことで、異学年と交流でき、譲り合えたり助け合ったりする姿が見られるようになった。
松元小	取組	1 自立活動の教育課程上の位置付けと取組 2 交流及び共同学習、交流学級との連携 3 情緒不安定になった児童への対応
	成果	○ 県民週間に実施している「カレンダー販売」を通し、他者の意図や感情を理解したり、場に応じた適切な行動を身に付けたりする機会を得ることができた。 ○ 武岡台特別支援学校との「居住地交流学習」では、他校の異学年の友達と名刺交換をしたり、自校の行事等を説明したりして、親睦を深めることができた。
松元中	取組	1 小学校教員と中学校教員との情報交換 2 中学校に入級予定の保護者に対する進路情報の提供
	成果	○ 部会の中で情報交換の時間を確保したことで有益な情報交換ができた。 ○ 保護者に対して授業参観と進路説明会を実施し理解を深める事ができた。

○来年度に向けて（共通実践事項）

- ・ 合同学習会に向けて連携を図りながら準備を進め、学習会を実施する。
- ・ 交流及び共同学習、交流学級との連携のあり方についての実践を共有し、特別支援教育の充実を図る。

(5) 養護教諭部会

テーマ	スムーズな運営のための各学校の連携はどうあればよいか	
東昌小	取組	1 西地区学校保健研究協議会発表 2 歯ッピータイム（生活習慣等のチェック）の学期1回の実施 3 研修会を通して、情報交換を図る。 4 ろう下モニターでの児童への啓発
	成果	○むし歯治療率が100%となった。家庭への啓発の効果があつた。 ○不登校や保健室登校の児童生徒の情報共有ができた。 ○「メディアとはみがきは9時までに」を合言葉にしたことで、児童の意識が高まってきている。
春山小	取組	1 中学校の期末試験に合わせてメディアコントロールに関する内容に取り組む。 2 各健康診断について、連携を図る。 3 研修会を通して、共通理解を図る。
	成果	○健康診断（定期、就学時）について、情報共有することで、円滑な運営ができた。 ○松元地区での取組（メディアコントロール）に合わせることができた。 ○児童生徒について、感染症対策等の情報共有ができた。
石谷小	取組	1 メディアコントロールの取組の実践（8月、1月）
	成果	○8月と11月にノーメディアチャレンジを実施した。
松元小	取組	1 各校で行われている保健授業の指導案などの情報提供及び共有
	成果	○自校でも積極的に他校の取り組みを取り入れ、効果的な保健授業を行った。
松元中	取組	1 松元中の期末試験期間中に近隣小学校で同時期にメディアコントロール週間を設定して、取り組んだ。 2 情報交換を密にした。
	成果	○家庭での取組がさかんだつた。 ○情報交換は生徒理解に役立った。

○来年度に向けて（共通実践事項）

- ・定期健康診断、就学時健康診断の円滑な運営のための連携を図る。
- ・メディアコントロールについての取組の共通実践を行う。
- ・むし歯治療率向上の取組の共有と家庭への啓発を図る。